



2024年エコキャップ活動報告



三光産業(株)では「NPO法人キャップの貯金箱推進ネットワーク」様(<http://www.capnochokinbako.jp/>)の活動に賛同し、エコキャップ活動に取り組んでいます。集められたボトルキャップはリサイクルメーカーに売却され、その売却益を「世界の子どもにワクチンを日本委員会」様に寄付していただく事で、当該団体を通じて、世界の子どもたちにポリオワクチンが贈られます。また、この活動は「キャップリサイクル」、「障がい者の支援」にも役立っています。

CO2の削減と素材の再利用 **キャップリサイクル**



ペットボトルのキャップは多くが燃えないゴミで処理されています（自治体によっては資源ごみ）。キャップをプラスチックゴミとして焼却処分すると400個で3,150gのCO2が発生します。キャップをボトル本体と分別することで別々の素材になるので再利用が可能です。キャップを分別回収することで再資源化を促進し地球温暖化防止に貢献しましょう。分ければ資源、混ぜればゴミ！

病気に苦しむ子どもにワクチンを **ワクチン寄付**



世界では今、1日に約4,000人の子どもたちがワクチンを接種できずに死んでいます。当団体は社会貢献活動として集めたキャップをリサイクルメーカーに売却し、その売却益を「認定特定非営利活動法人世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に寄付させていただき、この団体を通じ、世界で救いの手を必要としている方々にワクチンや医療物資等の必要なものを贈らせていただくお手伝いをさせていただいています。キャップ約800個でポリオ(小児麻痺)の子どもが一人救えます。

分別作業を通じて **障がい者の支援**



現在、ほとんどの障がい者施設では、障がい者の方々が行う仕事の量が激減しているようです。障がい者の人たちが生活していく中で、社会に参加しているという意識をもつことが大切といわれています。「キャップの貯金箱推進ネットワーク」では障がい者の皆さんに、異物除去作業等の仕事をさせていただくことで自分たちが社会に参加しているという意識をもつていただき、自立していくことへの支援ができればと思っています。

